

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-01	名称	ラバーマット
▶滑り止め効果のために、歩行用通路として体育館、工事現場、立体駐車場、ゴルフ場などの床に敷いて使用される合成ゴムシート。 ▶解体改修工事では表面が経年劣化したものやコンクリート付着のものが多い。			

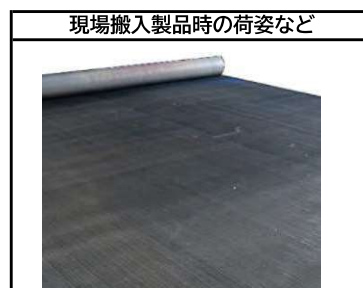
廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法				
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等	再資源化	
合成ゴム	軟質	熱硬化性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無	★	☆	☆	☆	☆
			□ 設備	□ 袋状	■ 端材・余剰材	□ 少					
			■ 改修	■ シート・フィルム状	□ 仮設材	□ 多					
			■ 土木	□ 板状	■ 使用済廃材						
			■ 解体	□ 管(筒)状	(養生材・容器等)						
			□ その他	□ 成型品							

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事 ●
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事 ●



望ましい → 望ましい
 資源循環

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当



排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など

【再資源化等】
 ▶熱分解やガス化の技術のある排熱利用施設への搬入により、再資源化等(熱回収)が可能。

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-02	名称	ゴムマット
▶マットにはラバータイプや塩化ビニールマットがある。 ▶ラバータイプのマットは、耐熱性、耐候性、防水性、クッション性に優れる。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法				
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等	再資源化	
合成ゴム	軟質	熱硬化性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無			★	☆	☆
			□ 設備	□ 袋状	■ 端材・余剰材	■ 少					
			■ 改修	■ シート・フィルム状	□ 仮設材	■ 多					
			□ 土木	□ 板状	■ 使用済廃材						
			■ 解体	□ 管(筒)状	■ (養生材・容器等)						
			□ その他	□ 成型品							

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事 ●
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事 ●
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望ましい → 望ましい
 資源循環

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶熱分解やガス化の技術のある排熱利用施設への搬入により、再資源化等(熱回収)が可能。

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-03-1	名称	防水シート (汚れなし)
▶マンション共用部やビル・商業施設の屋上などの防水工事で使用される塩ビ若しくは合成ゴム製のシート。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法				
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化
合成 ゴム PVC	軟 質	熱熱 硬可 化塑 性性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	■ 無			少 ↓ 多	★	☆
			□ 設備	□ 袋 状	■ 端材・余剰材	仮 設 材					
			■ 改修	■ シート・フィルム状	使用済廃材 (養生材・容器等)						
			□ 土木	□ 板 状							
			□ 解体	□ 管(筒)状							
			□ その他	□ 成型品							

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事 ●	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望ましい
→
望ましい
資源循環

★: 該当
☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶熱分解やガス化の技術のある排熱利用施設への搬入により、再資源化等(熱回収)が可能。

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-03-2	名称	防水シート (汚れあり)
▶マンション共用部やビル・商業施設の屋上などの防水工事で使用された塩ビもしくは合成ゴム製のシート。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法				
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等	再資源化	
合成 ゴム PVC	軟 質	熱 熱 硬 可 化 塑 性 性	☐ 新築	☐ 紐状・網状	☐ 梱包材・緩衝材	☐ 無	★	☆	☆	☆	
			☐ 設備	☐ 袋 状	☐ 端材・余剰材	☐ 少					
			☒ 改修	☒ シート・フィルム状	☐ 仮 設 材	☐ 多					
			☐ 土木	☐ 板 状	☒ 使用済廃材 (養生材・容器等)						
			☐ その他	☐ 管(筒)状							
				☐ 成型品							

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望
な
ま
い
し
く
資源循環

★: 該当
☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

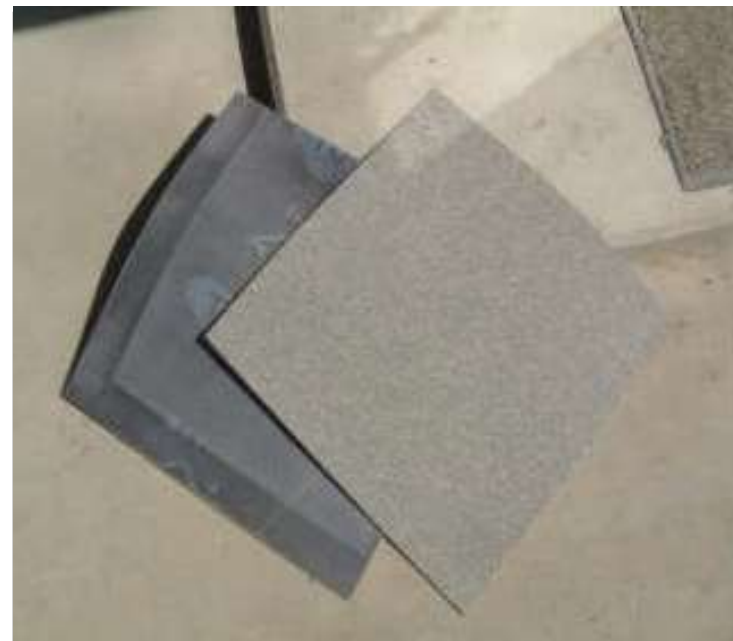
排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶熱分解やガス化の技術のある排熱利用施設への搬入により、再資源化等(熱回収)が可能。

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-04-1	名称	タイルカーペット (非塩ビ)(汚れ少ない)
▶フロア等の上に敷かれるタイル状カーペット。(40cm角等のサイズもあるが50cm角が一般的)。 ▶裏地の多くがPVC製だが、ここでは裏地が合成ゴムなどの非塩ビのモノを指す。 ▶特徴は、裏地が緑や黒であり、塩ビ製に比べて硬い。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	再資源化等		再資源化			
PA・PP	軟質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	■ 無		単純焼却	排熱利用	燃料化	高度熱回収		
合成ゴム			□ 設備	□ 袋状	■ 端材・余剰材	■ 少							
PVC	質		■ 改修	■ シート・フィルム状	□ 仮設材	■ 多						★	☆
			□ 土木	□ 板状	使用済廃材	□ その他	□ 成型品						

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事 ●
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましい → 望ましい
 資源循環

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当



排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など

【ケミカルリサイクル】

▶きれいなもので少量であれば、コークス炉化学原料・ガス化原料などに利用可。

【再資源化等】

▶熱分解やガス化の技術のある排熱利用施設への搬入により、再資源化等(熱回収)が可能。

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-04-2	名称	タイルカーペット (非塩ビ)(端材)
▶フロア等の上に敷かれるタイル状カーペットで一部が切り取られた不定形な端材 ▶裏地の多くがPVC製だが、ここでは裏地が合成ゴムなどの非塩ビのモノを指す。 ▶特徴は、裏地が緑や黒であり、塩ビ製に比べて硬い。			

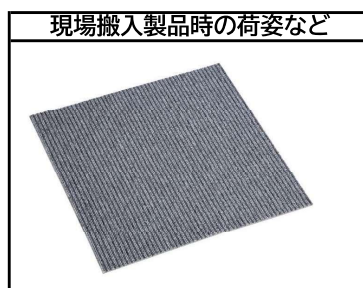
廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法				
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ			再資源化等	再資源	
PA・PP	軟質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	■ 無	埋立処分	単純焼却	排熱利用	高度熱回収	
合成ゴム			□ 設備	□ 袋状	■ 端材・余剰材	■ 少					
			■ 改修	■ シート・フィルム状	□ 仮設材						
			□ 土木	□ 板状	使用済廃材 (養生材・容器等)						
			■ 解体	□ 管(筒)状							
PVC	□ その他	□ 成型品	■ 多	★	☆	☆					

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事 ●
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましい
資源循環
望ましい

★: 該当
☆: 条件付きで該当



排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など

【ケミカルリサイクル】

▶きれいで少量であれば、コークス炉化学原料・ガス化原料などに利用可。

【再資源化等】

▶熱分解やガス化の技術のある排熱利用施設への搬入により、再資源化等(熱回収)が可能。

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-04-3	名称	タイルカーペット (非塩ビ)(酷い汚れ)
▶フロア等の上に敷かれるタイル状カーペット。(40cm角等のサイズもあるが50cm角が一般的)で酷い汚れが付着したもの。 ▶裏地の多くがPVC製だが、ここでは裏地が合成ゴムなどの非塩ビのモノを指す。 ▶特徴は、裏地が緑や黒であり、塩ビ製に比べて硬い。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等 排熱利用	再資源化 燃料化	高度熱回収	ケミカル	マテリアル
PA・PP	軟質	熱可塑性	☐ 新築	☐ 紐状・網状	☐ 梱包材・緩衝材	☐ 無							
合成ゴム			☐ 設備	☐ 袋状	☐ 端材・余剰材	☐ 少							
			☒ 改修	☒ シート・フィルム状	☐ 仮設材	☐ 多							
			☐ 土木	☐ 板状	使用済廃材 (養生材・容器等)								
PVC	質	☒ 解体	☐ 管(筒)状										
			☐ その他	☐ 成型品			★						

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事 ●
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	断熱工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



★:該当
 ☆:条件付きで該当



現場搬入製品時の荷姿など	排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-05	名称	ガス用ゴム管
▶ガス用ゴム管の素材は合成ゴムが一般的。 ▶特に耐ガス性に優れ、ガス吸収の少ない高品質合成ゴムを使うことが多い。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法				
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等	再資源化	再資源化
合成 ゴム	軟 質	熱 硬 可 化 性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	■ 無	■ 埋立処分	■ 単純焼却	■ 再資源化等	■ 再資源化	■ 再資源化
			□ 設備	□ 袋 状	■ 端材・余剰材	□ 少	□ 単純焼却	□ 単純焼却	□ 再資源化等	□ 再資源化	□ 再資源化
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮 設 材	□ 多	□ 単純焼却	□ 単純焼却	□ 再資源化等	□ 再資源化	□ 再資源化
			□ 土木	□ 板 状	■ 使用済廃材	□ 多	□ 単純焼却	□ 単純焼却	□ 再資源化等	□ 再資源化	□ 再資源化
			■ 解体	■ 管(筒)状	■ (養生材・容器等)	□ 多	□ 単純焼却	□ 単純焼却	□ 再資源化等	□ 再資源化	□ 再資源化
			□ その他	□ 成型品		□ 多	□ 単純焼却	□ 単純焼却	□ 再資源化等	□ 再資源化	□ 再資源化

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工事	22	木工事
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事 ●
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望ましい
資源循環
望ましい

★:該当
☆:条件付きで該当



現場搬入製品時の荷姿など	排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
	【再資源化等】 ▶熱分解やガス化の技術のある排熱利用施設への搬入により、再資源化等(熱回収)が可能。

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-06	名称	高圧油圧ホース
▶高い圧力に耐えられるように設計された、油圧を動力とする油圧ショベルなどの建設機械に使用されるホース。 ▶内面ゴム、補強層、外面ゴムから成り、内面ゴムによる油圧流体の圧力に耐えられるよう補強層にはスチールワイヤー等を使用。 ▶概ね1m程度に切断して廃棄。(金属は外す)			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	再資源化等		再資源化			
合成 ゴム	軟 質	熱 可 塑 性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無		少	☆	再熱利用	燃料化	高度熱回収	ケミカル
			■ 設備	□ 袋 状	□ 端材・余剰材	■ 少							
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮 設 材	■ 多							
			■ 土木	□ 板 状	使用済廃材 (養生材・容器等)								
			■ 解体	■ 管(筒)状									
			■ その他	□ 成型品									

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましく
資源循環
望ましい

★:該当
☆:条件付きで該当



現場搬入製品時の荷姿など	排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
	【単純焼却】 ▶ホースの中に油が残っていないこと、及び中のワイヤーを外すことを条件に、単純焼却施設への搬入が可能な場合がある。(受入施設と要相談)

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-07	名称	スパイラルホース
▶コンプレッサーなど圧縮空気を使用する機器などに使用される螺旋状に巻かれた巻取り不要の合成ゴム製のホース。 ▶別名、コイルホース ▶概ね1m程度に切断して廃棄。(金属は外す)			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ			再資源化等		再資源化		
PU 合成ゴム	軟質	熱硬化性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無	埋立処分	単純焼却	排熱利用	燃料化	高度熱回収	ケミカル	マテリアル
			■ 設備	□ 袋状	□ 端材・余剰材	■ 少							
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮設材								
			■ 土木	□ 板状	使用済廃材 (養生材・容器等)								
			■ 解体	■ 管(筒)状									
			■ その他	□ 成型品									
					□ 多	★	☆						

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事 ●



望ましく
資源循環
望ましい

★: 該当
☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶中のワイヤーを外すことを条件に、熱分解やガス化の技術のある施設であれば、排熱利用施設への搬入により再資源化等(熱回収)が可能。

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-08	名称	防舷材 (ぼうげんざい)
▶船が接岸するとき、船体が損傷しないよう船体と岸壁との間に設置される合成ゴム製のクッション材。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ			再資源化等	再資源化			
合成 ゴム	軟 質	熱 可 塑 性	☐ 新築	☐ 紐状・網状	☐ 梱包材・緩衝材	☐ 無	埋 立 処 分	単 純 焼 却	排 熱 利 用	燃 料 化	高 度 熱 回 収	ケ ミ カ ル	マ テ リ ア ル
			☐ 設備	☐ 袋 状	☐ 端材・余剰材								
			☒ 改修	☐ シート・フィルム状	☐ 仮 設 材								
			☐ 土木	☐ 板 状	☐ 使用済廃材								
			☒ 解体	☐ 管(筒)状	☒ (養生材・容器等)								
			☐ その他	☒ 成型品									

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	断熱工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましく
資源循環
望ましい

★: 該当
☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など 【再資源化等】 ▶熱分解やガス化の技術のある施設であれば、排熱利用施設への搬入により再資源化等(熱回収)が可能。(受入施設と要相談)
--

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-09	名称	駐車用緩衝保護材
▶駐車場の緩衝保護材であり、駐車クッション、駐車場コーナガードなどとも呼ばれる。弾力性の強い、合成ゴム製が一般的。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ			再資源化等	再資源化			
合成ゴム (PE) (PVC)	軟 質	熱 可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無	埋立処分	単 純 焼 却	排 熱 利 用	燃 料 化	高 度 熱 回 収	ケ ミ カ ル	マ テ リ ア ル
			■ 設備	□ 袋 状	□ 端材・余剰材	■ 少							
			■ 改修	□ シート・フィルム状	■ 仮 設 材	■ 多							
			■ 土木	□ 板 状	使用済廃材 (養生材・容器等)								
			■ 解体	□ 管(筒)状									
			■ その他	■ 成型品									

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望ましく
資源循環
望ましい

★:該当
☆:条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶熱分解やガス化の技術のある施設であれば、燃料化や排熱利用施設への搬入により再資源化等(熱回収)が可能。(受入施設と要相談)

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-10	名称	コーンベッド(軟質)
▶風などでカラーコーンが飛ばされないよう、上から押える重し。 ▶硬質系と軟質系(ゴム)とがあり、前者には塩ビ樹脂とPE樹脂がある。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化		
合成ゴム	軟質	熱硬化性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無			★	☆			
			■ 設備	□ 袋状	□ 端材・余剰材	□ 無↑							
			■ 改修	□ シート・フィルム状	■ 仮設材	■ 少↓							
			■ 土木	□ 板状									
			■ 解体	□ 管(筒)状			□ 使用済廃材						
			■ その他	■ 成型品			□ (養生材・容器等)	□ 多					

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	断熱工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	仕上工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましく
資源循環
望ましい

★: 該当
☆: 条件付きで該当



排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶熱分解やガス化の技術のある施設であれば、燃料化や排熱利用施設への搬入により再資源化等(熱回収)が可能。

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-11	名称	ゴム手袋 (合成ゴム)
▶ゴム手袋の材質には、天然ゴム・合成ゴム・塩化ビニルなどがあり、建設現場では厚手の天然ゴム製が多く利用されている。 ▶合成ゴム製は、耐油・耐熱・耐摩耗・突き刺し強度など多くの面で優れている。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法					
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	排熱利用	熱回収	再資源化	
合成ゴム	軟質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無	★	☆	☆	☆	☆	
			■ 設備	□ 袋状	□ 端材・余剰材	□ 少						
PVC	質	性	■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮設材	■ 多	★	☆	☆	☆	☆	
			■ 土木	□ 板状	■ 使用済廃材							
			■ 解体	□ 管(筒)状	(養生材・容器等)							
			■ その他	■ 成型品								

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事 ●
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事 ●



望ましい → 望ましい
 資源循環

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶熱分解やガス化の技術のある施設であれば、燃料化や排熱利用施設への搬入により再資源化等(熱回収)が可能。

建設系廃プラデータカード

混廃	合成ゴム-12	名称	ゴム手袋 (天然ゴム)
▶天然ゴム製の作業手袋は、柔らかさと伸縮性に優れ、傷や引き裂きに強い。指先の感触と安定した柔らかさが特徴。 ▶天然ゴム原材料に添加剤(促進剤、老化防止剤等)を加えて製造される。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ			再資源化等		再資源化		
合成 ゴム	軟 質		■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無	埋 立 処 分	単 純 焼 却	排 熱 利 用	燃 料 化	高 度 熱 回 収	ケ ミ カ ル	マ テ リ ア ル
			■ 設備	□ 袋 状	□ 端材・余剰材	■ 少 ↑ ↓ 多							
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮 設 材								
			■ 土木	□ 板 状	使用済廃材 ■ (養生材・容器等)								
			■ 解体	□ 管(筒)状									
			■ その他	■ 成型品									

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事 ●
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事 ●



望
ま
い
し
く
資源循環
望
ま
し
い

★: 該当
☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶熱分解やガス化の技術のある施設であれば、燃料化や排熱利用施設への搬入により再資源化等(熱回収)が可能。

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-13	名称	コンベアベルト
▶コンベアベルトとは物流や製造工場で使用される物を運ぶためのベルトコンベアのベルトで、長時間使用・弾力性・滑り防止などの理由から合成ゴムの使用が一般的。 ▶物流拠点・製造工場の改修・解体時に発生。他のプラスチックと分けて単品で廃棄			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等 排熱利用	再資源化 燃料化	高度熱回収	ケミカル	マテリアル
合成 ゴム	軟 質	熱 可 塑 性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無							
			■ 設備	□ 袋 状	□ 端材・余剰材	↑							
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮 設 材	■ 少							
			■ 土木	□ 板 状	使用済廃材 (養生材・容器等)	↓							
			■ 解体	□ 管(筒)状									
			■ その他	■ 成型品			□ 多						
						☆							

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	断熱工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	仕上工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましく
資源循環
望ましい

★:該当
☆:条件付きで該当



現場搬入製品時の荷姿など	排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
	【単純焼却】 ▶適正なサイズ調整を条件に、単純焼却施設への搬入が可能な場合がある。(受入施設と要相談)

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-14	名称	ゴムキャタピラ
▶「ゴムキャタピラ」とは、重機の地面に接触する部分に装着される帯状の部品（履帯）で合成ゴム製がほとんど。 ▶鉄キャタピラに比べて路面を傷つけにくく振動・騒音が少ない一方、耐久性が低いという弱点がある。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化		
合成 ゴム	軟 質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無			少 ↓ 多	☆	排熱利用	燃料化	高度熱回収
			■ 設備	□ 袋状	□ 端材・余剰材								
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮設材								
			■ 土木	□ 板状	■ 使用済廃材								
			■ 解体	□ 管(筒)状	■ (養生材・容器等)								
			■ その他	■ 成型品									

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望ましく
資源循環
望ましい

★: 該当
☆: 条件付きで該当



排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【単純焼却】 ▶適正なサイズ調整を条件に、単純焼却施設への搬入が可能な場合がある。(受入施設と要相談)

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-15-1	名称	タイヤ (ホイールなし)
▶建設現場から出てくる使用済みのタイヤ。天然ゴムに代わり、最近では合成ゴム製が圧倒的に多い。 ▶現場では、ホイールなしとホイールありがある他、様々な車種のタイヤが発生する。 ▶他のプラスチックと分けて単品で廃棄。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法				
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等	再資源化	
合成 ゴム	軟 質	熱 可 塑 性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無	少 ↓ 多	☆	☆	☆	☆
			■ 設備	□ 袋 状	□ 端材・余剰材	■ 少					
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮 設 材						
			■ 土木	□ 板 状	■ 使用済廃材 (養生材・容器等)						
			■ 解体	□ 管(筒)状							
			■ その他	■ 成型品							

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望
ま
い
く
資源循環
望
ま
し
い

★:該当
☆:条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶廃タイヤの専用リサイクル施設への搬入が条件。廃タイヤをカット・チップにし、燃料として利用可能。(製紙工場(燃料)、セメント工場(原燃料))

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-15-2	名称	タイヤ (ホイール付き)
▶ホイールとタイヤが一体化したもの。 ▶一般的にホイール付きタイヤは、軽量で取り付けやすいため、自動車やオートバイなどの古タイヤとして発生しやすい。 ▶可能であればホイールは取り外し、単品で排出。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法			
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等	再資源化
合成 ゴム	軟 質	熱 可 塑 性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無	望 な ま い し く 資源循環 望 ま し い	単 純 焼 却	再 資 源 化 等	再 資 源 化
			■ 設備	□ 袋 状	□ 端材・余剰材	■ 少				
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮 設 材	□ ↓				
			■ 土木	□ 板 状	■ 使用済廃材	□ 多				
			■ 解体	□ 管(筒)状	■ (養生材・容器等)					
			■ その他	■ 成型品						

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望
な
ま
い
し
く
資源循環
望
ま
し
い

★:該当
☆:条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶廃タイヤの専用リサイクル施設への搬入が条件。廃タイヤをカット・チップにし、燃料として利用可能。(製紙工場(燃料)、セメント工場(原燃料))

建設系廃プラデータカード

L1	合成ゴム-15-3	名称	タイヤ(泥付)
▶掘削工事などの際に地中障害物として発生することが多い。 ▶付着した泥を除去して単品で搬出する。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法			
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等	再資源化
合成 ゴム	軟 質	熱 可 塑 性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無	多	多	☆	マテリアル
			■ 設備	□ 袋 状	□ 端材・余剰材	□ 少				
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮 設 材	□ 中				
			■ 土木	□ 板 状	■ 使用済廃材	□ 多				
			■ 解体	□ 管(筒)状	(養生材・容器等)	■ 多				
			■ その他	■ 成型品						

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事 ●	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事 ●



望ましくない → 望ましい
 資源循環

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶付着した泥を除去し、廃タイヤの専用リサイクル施設への搬入が条件。廃タイヤをカット・チップにし、燃料として利用可能。(製紙工場(燃料)、セメント工場(原燃料))